

「熊本市院外心肺停止活動記録の検討」

医学情報の研究利用について

熊本大学医学部附属病院救急部において、熊本市院外心肺停止活動記録の検討を実施することになりました。調査対象となるのは、2013年1月1日から2015年12月31日までの間に、熊本市内で病院外において心肺停止になられた患者さまです。

本研究の目的は院外心肺停止となられた方の、効果的な治療方法を検討するためのものです。院外心肺停止の治療のために心肺蘇生の普及やAED(市民用電気ショック機器)の設置、消防入電時の係員の指導體制、救急隊員による処置の拡大などがこれまでも試みられており、これらの中でより効果的な治療を見つけ出すことの助けとなります。

調査項目は、年齢、性別、発生状況、病院前の治療内容、退院時の予後などです。これらのデータにおいて、すべての患者さまは匿名化され、お名前や住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切なく、何らの負担が生じることもありませんのでご安心ください。データについては、研究期間中(2016年12月から2017年3月)は、研究責任者のもとで厳重に管理され、研究終了後に紙媒体の資料はシュレッダーにて破棄され、電子データは匿名化した状態で完全に消去されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがあります。

本研究の利害関係について、本研究は救急活動によって得られたデータを使用するため研究費を必要とせず。また臨床研究利益相反審査委員会の承認を得ており、今後の報告もあわせて利害関係の公正性は保たれます。

本研究の調査対象の患者様で調査に同意されない方はお申し出ください。

このお知らせは熊本大学医学部附属病院 救急・総合診療部のHPで公示を継続します。

この件に関しまして、ご質問などございましたら、下記 研究責任者に遠慮なくお尋ねください。

研究責任者

熊本大学医学部附属病院

救急・総合診療部

金子 唯

電話：096-373-5769 (代表)